



『演劇について調べる』

凡例

- ・所蔵状況は2023年8月現在です。
- ・所蔵館略称 京：京橋図書館 日：日本橋図書館 月：月島図書館
- ・図書タイトルの下の情報は、(出版社/出版年/所蔵館略称名/請求記号)を表します。
- ・毎年出版される本や、各館で所蔵の版が異なるものは、出版年の表記をしていません。
- ・参考図書など一部貸出できない資料があります。館内をご利用ください。

1. 手がかりとなる言葉

はじめに、自分が探している情報の手がかりとなる言葉を集めることが大切です。調べたい事柄から思い浮かぶ言葉をあげていきましょう。演劇と言っても、「芝居」「俳優」「歌舞伎」「演技」など、調べる対象はさまざまです。できるだけいろいろな角度から考えてみましょう。

(例) 日本の演劇について調べたい。

舞台 新派 新劇 歌舞伎 能 狂言 新国劇 現代劇 アングラ劇 ミュージカル 役者 舞台芸術
衣裳 扮装 演技 裏方 大道具 小道具 鳴り物 映画脚本 劇作家 演目 劇場 芝居 演劇史 古
典劇 文士劇 劇団 映画

自分が知りたい情報に関連した言葉を書き出してみましょう。

2. 参考図書から探す

図書館の本は日本十進分類法(NDC)に基づいて分野別に分類されています。1で考えた手がかりとなる言葉をもとに検索機や参考図書などで調べていきます。演劇に関する本は、だいたい77で始まる数字に分類されますが、演劇の種類により分類が異なるため、さまざまな角度から探す必要があります。

演劇全体に関する本

『演劇年鑑』(日本演劇協会 京：R770.5/エ)

系列別劇場ごとの前年度上演記録。演劇関係の各賞受賞者、物故者一覧付。

『演劇百科大事典』(全6巻)(早稲田大学演劇博物館 京：R7703/3 日：R7703 月：R7703/エ)

演劇と芸能について全14,000項目を網羅。それぞれを各界の権威が執筆し、3,000点の挿図付き。参考文献あり。

『近代日本芸能年表』(上・下)(ゆまに書房 2013年 京：R7721/ク)

1853年から1952年までの舞台芸能、映画などジャンル別年表。

映画に関する本

『映画年鑑』(キネマ旬報社 京：R778/エ)

上映映画、各賞受賞作品、関係人名録、俳優人名録あり。

『世界映画大事典』(日本図書センター 2008年 京・月：R7780/セ 日：R7780)

劇映画、アニメーション、記録映画、実験映画、製作機関など、幅広い範囲から採取した用語や人物約4,100項目を50音順に配列。



『映画原作事典』(日外アソシエーツ 2019年 京・月：R7780/エ)

2007年～2018年に国内で公開された日本映画・外国映画・アニメ映画2,446本の基本情報を収録。

『世界シネマ大事典』(三省堂 2017年 京・日・月：R7782/セ)

古今東西の名作映画を草創期から最新作まで通史的に解説。

『映画賞受賞作品事典』(邦画編・洋画編)(日外アソシエーツ 京：R7780/エ 日：R7780)

国内外の映画賞、映画祭などで受賞した映画作品を収録。

日本の芸能に関する本

『日本芸能事典』(日外アソシエーツ 2008年 日：R7721 月：R7721/ニ)

1958年から2007年までの日本の芸能界のトピックスを掲載したデータブック。公演、ヒット、受賞、流行語など5600件の項目を収録。

放送に関する本

『NHK年鑑』(NHK出版 京：R699.2/エ 日：R6992/エ)

NHKの歩みを体系的・継続的に記録。番組解説の章あり。前年度のデータを収録。

『日本民間放送年鑑』(コーケン出版 京：R699.3/ニ)

民放界の1年の動きをまとめた「概況」、各社の年間の活動記録や衛星放送会社等一覧を掲載した「各社・関連機関」、資料データや名簿を収録した「資料便覧」の各編で構成。

ロケ地に関する本

『全国映画ドラマロケ地事典』(日外アソシエーツ 2011年 月：R7780/セ)

1990年代後半以降の映画・ドラマ467作品とそのロケ地を約10,000件収録。

古典芸能に関する本

『最新歌舞伎大事典』(柏書房 2012年 京：K774/サ 日：R7740)

江戸から平成までの歌舞伎の歴史と伝統について、2,507項目を掲載した大事典。

『能・狂言事典』(平凡社 2011年 京・月：R7730/ノ 日：7730/ノ)

能・狂言の作品をはじめ、歴史用語、演出用語から現代人名に至るまでを網羅。

『歌舞伎事典』(平凡社 2011年 京・月：R7740/カ 日：7740)

作品名・人名をはじめ、演技・演出・舞台・道具・衣裳・役者絵等に関する約1,600項目を収録。

3. 一般図書から探す

演劇全体に関する本

『江戸演劇史』(上・下)(講談社 2009年 京：E772.1/ワ、K77/ワ 日：KN7721 月：7721/ワ)

歌舞伎、能、狂言、文楽を中心に、江戸演劇史を描く。

『明治演劇史』(講談社 2012年 京：E772.1/ワ 月：7721/ワ)

明治期の歌舞伎と新演劇について。

『<要点>日本演劇史』(新国立劇場運営財団 2012年 日：7721/ヨ)

古代から1945年までの日本演劇の歴史と日本演劇史を掲載。

映画に関する本

『日本映画史110年』(集英社 2014年 日・月：7782/ヨ)

1896年から2011年までの日本映画史の全貌を明らかにした1冊。

『厳選あこのころの日本映画 101』(言視舎 2018年 月:7782/タ)

黒澤明監督「酔いどれ天使」、山田洋次監督「母と暮せば」など、101本の日本映画を紹介。

『キネマ旬報ベスト・テン 95回全史 1924→2021』(キネマ旬報社 2022年 日:7782/キ)

世界最古の伝統を持つ映画賞としての地位を築く「キネマ旬報ベスト・テン」、解説を完全収録。

演技に関する本

『演劇入門ブック ビジュアルで見る演技法』(玉川大学出版部 2014年 京:7717/へ)

演技に関して、アクターとしての身体コンディション作りや上演時のあり方など。

日本映画のシナリオに関する本

『年鑑代表シナリオ集』(日本シナリオ作家協会 京:912.7/ネ 日:9127/ネ)

前年度に公開された日本映画の脚本集。公開順に収録。前年度日本映画封切作品一覧付。

古典芸能に関する本

『マンガでわかる能・狂言』(誠文堂新光社 2020年 京:E773/マ 日:7730/マ)

初心者の疑問やよく公演される演目についてわかりやすく紹介。

『歌舞伎の解剖図鑑』(エクスナレッジ 2022年 京:E774/ツ 日:7740/ツ)

豊富なイラストとわかりやすい文章で、歌舞伎の基本を解説。

『これで眠くならない!能の名曲 60選』(誠文堂新光社 2017年 日・月:7730/ナ)

能の名曲から初心者が楽しみやすい60曲を厳選し、楽しみ方のポイントやあらすじなどを解説。

『ゼロから分かる!図解歌舞伎入門』(世界文化社 2019年 京:E774/ニ 日・月:7740/ニ)

歌舞伎の基礎知識、演目、鑑賞方法などをイラストで分かりやすく解説。

ミュージカルに関する本

『魅惑のミュージカル鑑賞入門』(世界文化社 2013年 京・日・月:7754/ミ)

名作50作品をとりあげ、ストーリーを含めた作品の概要、聴きどころなど年代順に並べ解説。

※検索機で検索し特定の本を探すだけでなく、実際に関連図書がある棚に足を運び、手にとって見ることは、書名や検索機の情報だけではわからない図書を見つけることができ、大変有効です。

また、京橋図書館には4階に「演芸・演劇コーナー」があり、分類記号の前にEがついている資料はその棚に並べられています。

4. 新聞・雑誌記事から探す

◆新聞縮刷版

京 橋:朝日・読売・日経・毎日

日本橋:毎日

月 島:朝日

◆中央区立図書館では、演劇に関する次の雑誌を所蔵しています。

- ・『演劇界』(京:永年 日・月:1年保存) ※2022年4月号をもって休刊
- ・『えんぶ』(月:1年保存)
- ・『キネマ旬報』(京:3年保存 日・月:6ヶ月保存)
- ・『シナリオ』(京:3年保存)
- ・『SCREEN』(京・日・月:1年保存)
- ・『テアトロ』(京:永年保存)
- ・『悲劇喜劇』(京:永年保存)
- ・『ミュージカル』(日:3年保存)



※また演劇に関する雑誌以外でも特集で取り上げていることがあります。検索機で特集名から検索することもできます。(月刊誌・一部週刊誌)

5. インターネットから探す

図書や雑誌だけでは網羅できない新しい情報を探すときに有効です。

	タイトル／作成者	URL
1	enpaku／早稲田大学演劇博物館	https://www.waseda.jp/enpaku/
	データベースをクリックすると演劇・映画に関する資料を検索できる。	
2	文化デジタルライブラリー ／独立行政法人日本芸術文化振興会	https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/
	歌舞伎、能・狂言などの伝統芸能について、ビジュアル映像を多く用い、わかりやすく説明されている。	
3	歌舞伎on the web	https://www.kabuki.ne.jp/
	公益社団法人日本俳優協会と一般社団法人伝統歌舞伎保存会が協力して設置した歌舞伎 on the web 事務局が運営。公演情報、歌舞伎俳優名鑑、演目が検索できる。	
4	公益財団法人 松竹大谷図書館	https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/
	松竹が収集・所蔵してきた演劇と映画に関する資料の一部の検索や館のニュースレターを読むことができる。	

☆ご注意☆

ここでご紹介した資料はごく一部です。探している資料が見つからないなどご質問がございましたら、レファレンスカウンターにお尋ねください。ただし、資料に関する相談に限ります。